

日時 平成28年7月20日
午後3時30分～5時
場所 長野南高等学校会議室
進行 教務主任 内藤 信一
記録 教務係 丸山千恵

1. 開会の言葉 (教頭：田村)
2. 学校長挨拶 (学校評議員委嘱) (校長：荒木)

原山教育長講話の中で、“衆知は英知”というお話がありました。さて、今年の文化祭のテーマ、「Full Force～灰になるまで High になれ～」を見るにつけ、生徒は完全燃焼したがっているように感じた。その気持ちを我々教員ももって、生徒をもっと熱く完全燃焼させて地域に溶け込んだ活動をしていきたいと考えておりますので、学校評議員というお立場からの英知をお寄せいただきたい。



3. 出席者自己紹介

井上様：生徒の皆さんがよりよい学校生活を送っていただけるようにご指導いただきたい。

栗田様：前同窓会長として見守っていきたい。

小池様：PTA会長として 生徒が楽しく学校に通えるようにしてほしい。

田原様：南陵祭を見せていただいた。生徒会の川中島白桃の研究成果を多くの人にに見ていただきたい。

塚田様：本校が創立した時よりかわりがあった。地域に更に溶け込んでほしい。

中澤様：文化祭は生徒が楽しんでいるようだったが、もう少し踏み込んで調べてほしかった。何人が選挙権があり何人が選挙に行ったのか知ることはできるか？

平栗様：自分も一緒に学びたいと思う。

4. 報告・意見交換

- (1) 学校概要説明

- ①教務より (教務主任：内藤)

5月の公開授業にて見学者数がやや減っているのは、地域の小学校の運動会と重なったり、他校の公開授業と重なったためと思われる。来校者のアンケートの記述では、校内がきれいだったという記述が43件もあった。清掃に力を入れている成



果が出てきているのではないかと。また、挨拶が良いという点では生徒会役員が呼びかける活動をしているので、挨拶が定着していると思われる。

②生徒指導係より 生徒指導主任：神田



交通安全に力を入れている。4月には実際のスタントマンをお願いしての安全教室を開いた。交通事故が5月までに5件あったが、昨年までは右側通行での自転車事故があったが、今年はすべて左側通行での事故なので、事故の質も変わってきたと思われる、またもらい事故も2件あった。朝の立ち番もやっているの、生徒への意識が少しずつ高まっているように思われる。今後も定期的に意識を高めるように働きかけていく予定。携帯やスマホ関連の教育も1年生は4月の入学時にすぐに行ったがネットトラブルが発生している。大きな事件にはなっていないが、今後も指導していきたい。携帯の使用時間が長いと学習時間が短くなるという結果も出ている。

アルバイトは基本的に許可しない。する場合には職員会を通してのみ。基本的には学習に時間を充てるように指導している。お祭りの巡回指導は今年は篠ノ井祭りのみの予定。

③進路指導係 (進路指導主任：山崎)



5月6月の定期考査の際に、自宅学習をどのくらいしているか調査を実施した。3年生の補習は夏休みは盆と土日を除きほぼ毎日実施。1月のセンター試験まで続ける。1～2年生については夏休みは4日間補習の予定。就職者の指導については、今年は求人が比較的多いので夏休み中に職場見学をし9月からの採用に向けて準備している。卒業生の進路状況は、昨年に比べわずかだが専門学校希望が減り、4年生大学への希望が増えている。

④生徒会係 (生徒会主任：市村)

川中島白桃のボランティア活動は現在の3年生が1年生の時から生徒会に入り活動してきた。全国ブランドである川中島白桃を支える人たちの高齢化を目の当たりにして、地元の高校生として何かお手伝いをしたいという思いから始まったが、今年度は文化祭で発表できるよう、白桃ツアーに参加し剪定や摘花の作業を見たり手伝うことで体を使って勉強させていただけた。

部活動は個人も含めて県大会まで行ける部が増え活躍できた。男子ハンドボール部はインターハイへ、軽音楽部も3チームが県大会に進めるということで活躍している。文化祭では雨にもかかわらず920名の方に来校いただけたのは良かった。1円玉募金も東日本大震災より続けているが、今年度は熊本地震もあり文化祭でも行った。



⑤PTA係より (渉外係主任：仁科)

28年度は理事会を年4回の予定。地区PTAは11地区(中学校ごと)職員が出向いて地区ごとの話し合いをしている。本校の役員は地区PTAの際に話し合いにより決めるという方式をとっている。地区PTAでは、生徒の通学状況でどういう道で通っているのかとか危険な個所はどこかといった質問が多く寄せられた。

PTA総会には約100名出席したがどうしてもっと多くの方に参加していただけたのが課題である。文化祭にはPTAとしてお休み処を開設し参加した。PTA連合会にも役員は出席している。



(2) 意見交換 ○=学校評議員、◇=学校職員

- 生徒会の川中島白桃についての発表は、一つのことを継続していくのは大変なこと。打ち上げ花火に終わらせず、継続して大きな成果につながっていると思う。白桃の取組が長く地域とかかわっている活動は続けるべき。
- 今回の発表の優れている点は、実際に桃農家にボランティアに行き活動をしている点にあると考える。机上ではない学習をすることが大切。
- 桃ツアーに参加して、桃農家の高齢化が進んでいる現状を知って、南高生として継続的にボランティアに来てもらったので、桃農家の方も高齢化してきて若い人が関心を持ってもらおうと元気が出るという喜んでおられるので、今後も継続してほしい。
- ◇文化祭で桃を扱い始めたのは5年前。何か本校のメインとなる活動はないかと考えている中で出てきた。
- 公開授業を見学したが、一生懸命学んでいてよかった。学校もきれいである。
- 1円玉募金はほかの学校でも活動しているが、学校の募金活動はとて多く感謝しているとのこと。また、コスモスにボランティアに行っていると聞いたが、地区との色々な面で協力体制をとって交流してもらえればと思う。
- ◇コスモスへのボランティアは毎週水曜日に行くことが多く、日程の調整や交渉はすべて生徒自らが行っている。また、下氷鉋保育園にもボランティアに行っている。月・火・金曜日に行くことが多い。その他、長野マラソンや灯明祭りも行っている。今は執行部の生徒が主であるがいずれ全ての生徒へこの活動を広げたいと思っている。
- 生徒の出身中学に東村山第五とあるのは？下宿しているのか？
 - 親の勤務の関係で引っ越してきたが下宿ではない。現在下宿の生徒はいない
- 体験入学の時など、在校生（高校生）と中学生の意見交換会はしているのか？してはどうか？双方において意見交換することで自分自身を見直す機会になり、将来の方向性も見えてくるのではないかと。また、18歳選挙権の問題については客観的に政治をみられる生徒になってほしい。常識的な考えがもてる生徒に育ててほしい。
- ◇体験入学については、今は部活見学程度。体験授業中、保護者と教員は交流しているが、今後検討してみる。
- ◇選挙権を有する生徒数と投票率については未詳。教育現場としては今後主権者教育をどのように展開していくかはこれからの課題であると考えている。



5、各評議員より

○今年初めて出席させていただいた。先生、生徒、家庭が一体となって3年間よい生活が送れるように先生方はよい導きをお願いしたい。

○生徒指導で、お祭りの巡回指導は篠ノ井方面にしか行かないのか？また、夏休みの補習はたくさんあってよいと思う。

◇お祭り関係ではこのところ大きな問題もなく、駐車場の確保もきびしいので、篠ノ井祭りのみの予定。

○地域の皆さんにもあたたかく見守っていただいていることがわかり、感謝している。

○専門学校や大学など進学が多いようだが、創立時から変わってきているのか？

◇ここ数年は今年と同様の傾向である。創立時からのデータは、次回の評議員会にて報告させていただく。

○進路指導で、センター試験は難しいかもしれないが、全員で何か統一感をもって挑戦できるような(試験など)ものがあるとよいのではないかと？

◇センター試験をすべての生徒に受けさせるのは難しい。2年生の1学期まではすべての生徒に模擬試験をうけさせている。また、学力向上という点では、漢字検定、英語検定については全員受検を導入しており、数学検定も実施している。

○以前“おやき”づくりの講習会を調理室で行った。文化祭でも信州の食として“おやき”が取り上げられていてうれしい思いがした。さて、生徒はメンタル的にはどうか？社会人として生きる力、乗り越えていく力をつけるのが高校の役割ではないかと考える。不登校の生徒はどの程度いるのか？

○生徒に寄り添う姿勢を大切に、子供達が生き生きと生活できるようにしてほしい。

◇不登校や転学、退学については全県の数字の中で本校の数字を考えるべきものと考えている。

○学校がよくなるためには、先生は生徒の相談相手になり、生徒の気持ちをくんだ指導をして行くことが重要だ。

○公開授業で、すごく明るく叱咤激励する先生がおり、生徒も明るく答えていた。明るい姿勢、明るい言葉は生徒に伝わり、がんばろうという心を育てる。とても大事なことだと思った。感動した。



6. その他

- ・10月19日に、地域の皆様と本校職員との懇談会を開催予定。例年参加者は60名ほど。
- ・12月16日に、第2回学校評議員会を開催予定。第2回は学校評議員と地域の皆様をお招きして、生徒会執行部の生徒とグループワークを行う予定。
- ・第3回評議員会は2月24日に開催予定。H28年度の学校評価をお願いしたいと考えております。

7. 閉会の言葉 (教頭：田村)